

Vol.167 「学校制服の必要性」

日本では中学・高校の多くで学校制服が採用されています。このことから、学校制服を着用した経験のある人は多いようですが、学校制服の必要性についてはどのように感じているのでしょうか？今回は、全国の10～60代の男女1,800人を対象に、学校制服の良い点、学校制服の必要性とその理由について調査しました。

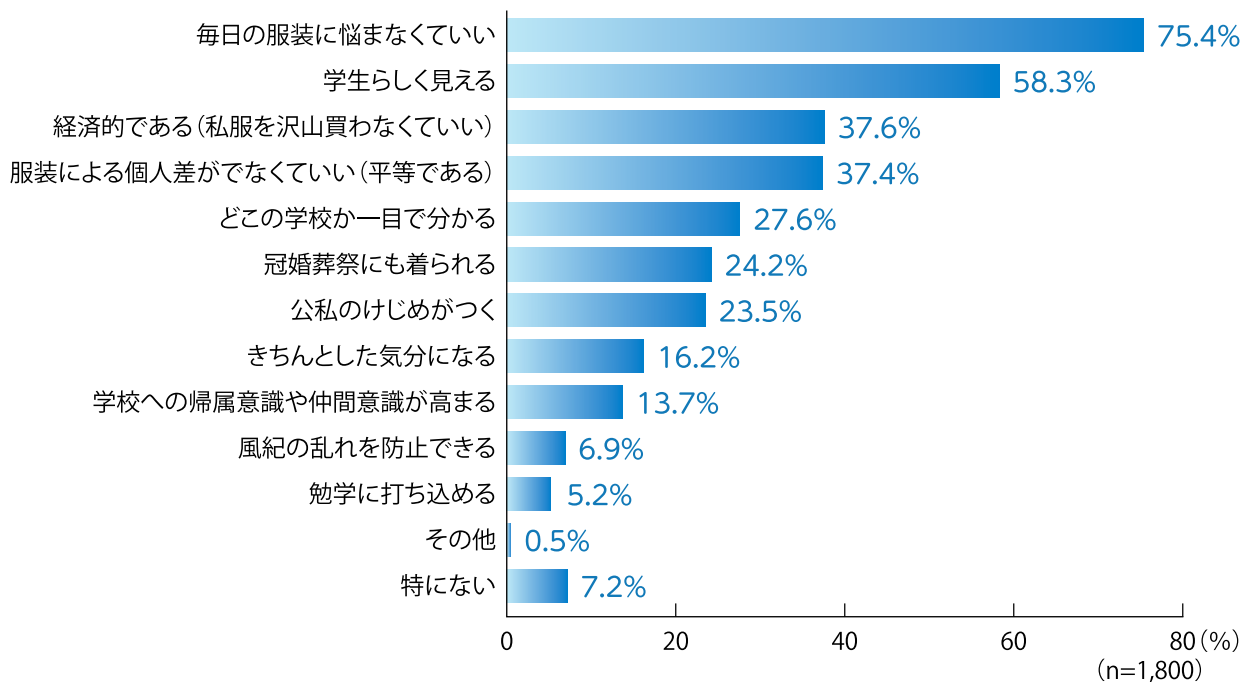


調査概要

調査対象：全国の10～60代の男女 1,800人
 調査方法：インターネットリサーチ
 実施時期：2019年7月

Q 1. 学校制服の良い点

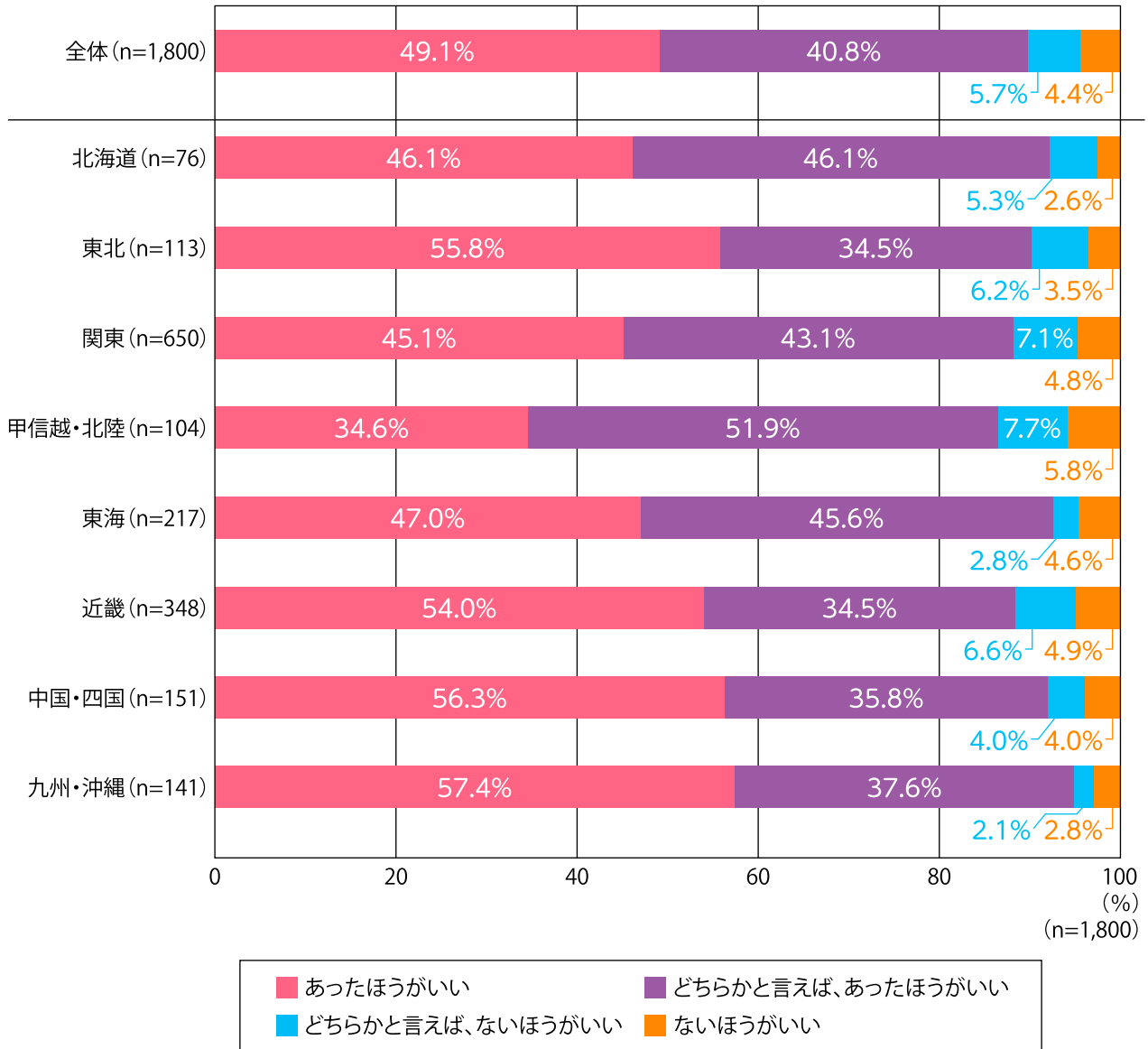
学校制服の良い点は、「毎日の服装に悩まなくていい」(75.4%)が圧倒的に多く、次に「学生らしく見える」(58.3%)という回答が半数を上回りました。続いて、「経済的である(私服を沢山買わなくていい)」(37.6%)、「服装による個人差がなくていい(平等である)」(37.4%)、「どこかの学校か一目でわかる」(27.6%)、「冠婚葬祭にも着られる」(24.2%)、「公私のけじめがつく」(23.5%)など、多様な理由があげられました。



【図1】 学校制服の良い点はどのようなことだと思いますか。(複数回答)

Q 2. 学校制服の必要性

学校制服の必要性は、全体では「あったほうが良い」(49.1%)と「どちらかと言えば、あったほうが良い」(40.8%)をあわせると、約9割が学校制服は必要だと回答しています。地域別では、九州・沖縄は「あったほうが良い」(57.4%)、「どちらかと言えば、あったほうが良い」(37.6%)という結果で、他の地域に比べて学校制服があったほうが良いと思う割合が高いという結果になりました。



※グラフの数字は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

【図2】 学校制服はあったほうが良いと思われますか。(単数回答)

Q 3. 学校制服の必要有無の理由

学校制服があったほうが良い理由は、「けじめがつくように思うし、私服に悩む必要がない。」「服選びや貧困格差も感じないのであった方がよい。」「気持ちの切り替えができる。仲間意識ができる。」「学生なのか、どこの学校の生徒か分かるので。」など、学校制服の良い点と共通した内容があげられました。また、学校制服がないほうが良い理由は、「個性がない。」「制服は楽だけどダサイから。」「自分の体調に合わせて服を調整できないから。」「窮屈だから。」といった見た目のファッション性や着用時の快適性などがあげられました。

学校制服があったほうが良い理由 (n=1,617)

- けじめがつくように思うし、私服に悩む必要がない。
- 衣服費の節約になるので。
- 服選びや貧困格差も感じないのであった方がよい。
- 平等感がある。
- 貧富の差を感じにくい。
- 私服を買えない家庭へのいじめが減りそうだから。
- 気持ちの切り替えができる。仲間意識ができる。
- 統一感があり、クラスの一体感が生まれる。
- 学生なのか、どこの学校の生徒か分かるので。
- その学校を象徴するものだから。
- 親も本人も楽。
- 学生の時しか着られないため。
- オンオフがはっきりするから。
- 可愛い。
- 日本の文化。

学校制服がないほうが良い理由 (n=183)

- 個性がない。
- 縛られたくない。
- 無い方が、校風が自由になりそうだから。
- 帰りにそのまま遊びに行けるから。
- 毎日同じ服を着るのがめんどくさいし、校則がめんどくさい。
- 好きな服を着たい。
- オシャレしたいから。
- 毎日違う服を着る方が服を選ぶセンスが身につくから。
- 時代遅れ。
- かわいくない。
- 制服は楽だけどダサイから。
- スカートが嫌いな人とかには苦痛だから。
- 毎日同じのを着るから汚い。
- 自分の体調に合わせて服を調整できないから。
- 窮屈だから。

【図3】 学校制服はあったほうが良いと思われますか。その理由を教えてください。(自由回答)

 **まとめ**

学校制服は見ただけでどの学校か一目でわかると言われるように、詰襟・セーラー・ブレザー・スーツなど様々なタイプがあり、学校毎に色やデザインが異なります。

今回、全国の10～60代を対象に学校制服の良い点を調べたところ、「毎日の服装に悩まなくていい」(75.4%)、「学生らしく見える」(58.3%)、「経済的である(私服を沢山買わなくていい)」(37.6%)、「服装による個人差がなくていい(平等である)」(37.4%)、「どの学校か一目でわかる」(27.6%)などの理由が良い点としてあげられていました。学校制服の必要性については、地域で多少の意識の違いがみられますが、全体では約9割が学校制服は必要だと回答していることから、学校制服の必要性は高いと言えます。しかし、その一方、「個性がない。」、「制服は楽だけどダサイから。」、「自分の体調に合わせて服を調整できないから。」、「窮屈だから。」などの見た目のファッション性や着用時の快適性への不満から、学校制服はないほうがいいという声も少数ではありますがみられました。

日本では、明治以降の近代学校教育制度の発展とともに、学校制服を採用する学校も増えて現在のような学校制服文化が定着しています。多くの人が「学校制服は必要だ」と答えていますが、見た目のデザイン以外に利便性や機能性など、学校制服のあり方にも変化が求められています。

毎月最終
火曜日
更新

カンコーホームルーム ～学生を読み解くデータ集～

カンコーホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。
ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

検索<http://kanko-gakuseifuku.co.jp>